

2020年度  
事業計画書および収支予算書

自 2020年4月 1日  
至 2021年3月31日

公益財団法人 上原記念生命科学財団

## 2020年度事業計画書

当財団は1985年2月19日に財団法人として設立し、2010年2月1日には公益財団法人に移行した。設立以来所有する大正製薬（現大正製薬ホールディングス）株式会社株式の配当収入を活用し着実に事業を推進して来た。

2020年度は引き続き、わが国の企業をベースとする助成財団としては最大級の事業を行い、公益財団法人としての使命を果たしていく。

本年6月には、2017年度からスタートした第10回特定研究「脳—末梢連関による生体恒常性の維持とその破綻」の成果発表のため、国際シンポジウムを開催する。更に、本年度から新たに、3年継続助成の第11回特定研究「AI・ビッグデータ駆動型生命科学」を開始し、その募集を行う。

### 1. 生命科学に関する分野の研究に対する助成

(定款第5条第1項第1号)

#### (1) 研究助成金の助成の対象および方法

生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する諸分野の研究の中から、重要性かつ将来性のあるものに、

(イ) 研究助成金（助成額1件500万円）

(ロ) 研究推進特別奨励金（中堅研究者対象、助成額1件400万円）

(ハ) 研究奨励金（若手研究者対象、助成額1件200万円）

として助成する。

#### (2) 募集、選考等

(イ) 募集は、財団ホームページ等に公開した上、大学および研究機関の代表者に推薦を依頼する。

(ロ) 応募者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

#### (3) 予算

助成件数220件以内を目途とし、予算7億6,000万円とする。

#### (4) 特定研究助成

(イ) 研究成果の待たれる特定分野の研究に助成を行うこととし、本年度から第11回特定研究助成を実施する。

- (ロ) 助成の対象とする特定分野については、学識経験者の意見を参考にしてテーマ検討委員会に検討をお願いした。その答申を受けて、「AI・ビッグデータ駆動型生命科学」を助成対象とする。
- (ハ) 助成の方法は、1件あたりの金額を900万円か1,500万円とし、助成期間は3年とする。(3年間分割交付)
- (ニ) 募集・選考等の方法は研究助成金に準ずる。
- (ホ) 研究成果は当財団主催の国際シンポジウムにおいて発表する。
- (ヘ) 本年度(初年度)の予算は7,000万円とする。

## 2. 生命科学に関する分野の研究業績に対する褒賞

(同第2号)

### (1) 褒賞対象

生命科学に関する研究で顕著な業績をあげ、引続き活躍中の研究者を褒賞する。

### (2) 募集、選考等

(イ) 主要学会の代表者、当財団役員、評議員、諮問委員及び、これまでの上原賞受賞者に候補者の推薦を依頼する。

(ロ) 候補者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

### (3) 予算

正賞金牌、副賞3,000万円(1件当たり)を贈呈する。

褒賞件数2件以内とし、予算を6,300万円とする。

## 3. 生命科学に関する分野の研究者の派遣及び招聘並びにその助成

(同第3号)

### (1) 助成対象

(イ) 生命科学に関する分野の若手研究者で、海外留学を希望する者に留学資金を助成し、学術の国際交流に資する。

(ロ) 生命科学に関する分野の海外の研究者で、わが国への留学を希望する者に対して、補助を行う。

### (2) 募集、選考等

(イ) 募集は、財団のホームページ等に公開した上、大学および研究機関の代表者に推薦を依頼する。

(ロ) 応募者の中から選考委員会で選考し、理事会で決定する。

(3) 予算

助成件数は150件以内を目途とし、予算を6億440万円とする。

#### 4. 生命科学に関する分野の研究会、講演会及びシンポジウムの開催並びにその助成 (同第4号)

(1) 国際シンポジウムの開催

(イ) 第10回特定研究の成果発表のため以下のように国際シンポジウムを実施する。

研究課題 「Brain-periphery interactions in health and diseases」

開催時期 2020年6月8日～10日

場 所 ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区）

(ロ) 予算は5,000万円とする。

(2) シンポジウムの開催助成

(イ) 助成対象

生命科学に関する国際研究集会で、原則としてわが国で開催されるもの。

(ロ) 募集、選考等

財団のホームページ等に公開して募集し、選考委員会で選考の上、理事会・評議員会で決定する。

(ハ) 原則として1件100万円以内とし、予算3,000万円とする。

#### 5. 生命科学に関する分野の研究成果の刊行及びその助成 (同第5号)

(1) 研究成果の刊行

(イ) 助成金に係る研究経過報告書を取りまとめて、「上原記念生命科学財団研究報告集」として刊行する。

(ロ) 上原賞受賞者講演録を作成する。

(ハ) 国際シンポジウムの記事をNature誌に掲載する。

(2) 予算は1, 200万円とする。

## 6. その他財団の目的達成のために必要な事業

(第5条第3項)

(1) 機関誌を発行する。

(2) 国外で開催される国際学会に対し援助を行う。

(3) 助成金等の申請や研究報告集の入稿等に係るWebシステムの導入・管理を行う。

(4) その他、理事会が必要と認めた事業を行う。

(5) 各種事業間の調節

前記の各事業の運営を円滑かつ効果的に行いうるようにするため、応募並びに選考状況を勘案し、理事長が必要と認めた場合はこの予算の中から追加支出する。

(6) この予算は9, 930万円とする。

## 7. その他

助成金等の募集方法、募集人員、募集時期、推薦依頼に関する事項及び交付金額等、交付対象者選出のため必要な事項の細目については、5月に開催する理事会で決定する。

# 事業計画概要一覧

	2020年度計画	前年度計画
定款第5条第1項第1号 研究助成	研究助成金 1件500万円 100件 研究推進特別奨励金 1件400万円 10件 研究奨励金 1件200万円 110件 総予算 7億6,000万円	研究助成金 1件500万円 110件 研究推進特別奨励金 1件400万円 10件 研究奨励金 1件200万円 110件 総予算 8億1,000万円
	第11回特定研究助成金(1年度) 500万円×5件、300万円×15件 予算 7,000万円	第10回特定研究助成金(3年度) 500万円×5件、300万円×15件 予算 7,000万円
同第2号 研究業績褒賞	正賞：金牌 副賞：3,000万円(1件当たり) 対象：2件 総予算 6,300万円	正賞：金牌 副賞：3,000万円(1件当たり) 対象：2件 総予算 6,300万円
同第3号 派遣及び招聘の 助成	(1)若手研究者の海外留学助成 リサーチフェローシップ及びポストドクトラルフェローシップ (140件) 予算 5億6,840万円 (2)海外研究者のわが国への留学補助 月15万円×24ヵ月×10件 予算 3,600万円 総予算 6億440万円	(1)若手研究者の海外留学助成 リサーチフェローシップ及びポストドクトラルフェローシップ (160件) 予算 6億6,100万円 (2)海外研究者のわが国への留学補助 月15万円×24ヵ月×10件 予算 3,600万円 総予算 6億9,700万円
同第4号 研究会・シンポジウム の開催及び助成	(1)2020国際シンポジウム開催等 予算 5,000万円 (2)助成(100万円×30件) 予算 3,000万円 総予算 8,000万円	(1)2020国際シンポジウムの中間報告会等 予算 1,500万円 (2)助成(100万円×30件) 予算 3,000万円 総予算 4,500万円
同第5号 研究成果の刊行	研究成果の刊行 (研究報告集、上原賞講演録、2020国際シン ポジウムのNature誌掲載等) 予算 1,200万円	研究成果の刊行 (2017国際シンポジウム「ローディング」を含む) 予算 1,200万円
その他事業費	贈呈式委託費 1,200万円 助成者・選考委員旅費 1,700万円 委員への謝金 1,430万円 印刷・製本・広告費 3,700万円 機関誌発行費 700万円 雑費 1,200万円 総予算 9,930万円	贈呈式委託費 1,200万円 助成者・選考委員旅費 1,700万円 委員への謝金 1,430万円 印刷・製本・広告費 3,700万円 機関誌発行費 700万円 雑費 1,200万円 総予算 9,930万円

# 収支予算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 ①	法人会計 ②	合 計 (①+②)	2019年度 予算	備 考
<b>I.一般正味財産増減の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 運用益					
基本財産運用益	1,518,975	132,000	1,650,975	1,802,900	
(基本財産受取配当)	(1,518,000)	(132,000)	(1,650,000)	(1,800,000)	大正製薬ホールディングス株式配当 1株110円(前年120円)
(基本財産受取利息)	(975)	(0)	(975)	(2,900)	
特定資産運用益	62	0	62	70	
(研究助成事業基金受取利息)	(31)	(0)	(31)	(35)	
(海外留学助成事業基金受取利息)	(31)	(0)	(31)	(35)	
② 雑収益(受取利息)	70	0	70	70	
経常収益計	1,519,107	132,000	1,651,107	1,803,040	
(2) 経常費用					
① 事業費					
研究助成金(定款第5条第1項第1号)	830,000	0	830,000	880,000	
(研究助成)	(760,000)	(0)	(760,000)	(810,000)	研究助成金(10件減)、研究推進特別奨励金、研究奨励金
(特定研究助成)	(70,000)	(0)	(70,000)	(70,000)	第11回特定研究、1年目
研究業績褒賞(同第2号)	63,000	0	63,000	63,000	上原賞2件を予定
研究者の派遣・招聘(同第3号)	604,400	0	604,400	697,000	海外留学助成金(20件減)及び来日研究生助成金
研究会開催・シンポジウム助成(同第4号)	80,000	0	80,000	45,000	
(研究会委託費)	(50,000)	(0)	(50,000)	(15,000)	国際シンポジウム開催
(シンポジウム開催助成)	(30,000)	(0)	(30,000)	(30,000)	
研究成果の刊行(同条第5号)	12,000	0	12,000	12,000	研究報告集、上原賞講演録、国際シンポジウムNature誌掲載
その他事業費	99,300	0	99,300	99,300	
(贈呈式委託費)	(12,000)	(0)	(12,000)	(12,000)	
(被助成者旅費交通費)	(13,000)	(0)	(13,000)	(13,000)	
(選考委員旅費交通費)	(4,000)	(0)	(4,000)	(4,000)	
(委員への謝金)	(14,300)	(0)	(14,300)	(14,300)	
(印刷製本費)	(2,000)	(0)	(2,000)	(2,000)	
(広告費)	(35,000)	(0)	(35,000)	(35,000)	募集・贈呈者広告
(機関誌発行)	(7,000)	(0)	(7,000)	(7,000)	機関誌発行、その他
(雑費)	(12,000)	(0)	(12,000)	(12,000)	特定研究・上原賞応募・研究報告集のWeb化、会議室使用料
事業費計	1,688,700	0	1,688,700	1,796,300	

(単位:千円)

科 目	公益事業会計 ①	法人会計 ②	合 計 (①+②)	2019年度 予算	備 考
②管理費					
役 員 報 酬	0	2,000	2,000	2,000	
人 件 費	0	64,000	64,000	64,000	
(給料手当)	(0)	(55,000)	(55,000)	(55,000)	
(福利厚生費)	(0)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	
旅 費 交 通 費	0	2,000	2,000	2,000	理事会、評議員会旅費交通費
会 議 費	0	1,000	1,000	1,000	会議室使用料
通 信 運 搬 費	0	2,000	2,000	2,000	
賃 借 料	0	11,000	11,000	11,000	事務室賃借料、機器リース料
光 熱 水 料 費	0	1,000	1,000	1,000	
消耗什器備品費	0	2,000	2,000	2,000	
雑 費	0	7,000	7,000	7,000	
管理費計	0	92,000	92,000	92,000	
経常費用	1,688,700	92,000	1,780,700	1,888,300	
当期経常増減額	▲ 169,593	40,000	▲ 129,593	▲ 85,260	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
他会計振替	20,000	▲20000			
当期一般正味財産増減額	▲ 169,593	40,000	▲ 129,593	▲ 85,260	
一般正味財産期首残高	1,079,137	164,098	1,243,235	1,261,456	
一般正味財産期末残高	929,544	184,098	1,113,642	1,176,196	
II. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	148,640,000	12,660,000	161,300,000	159,950,000	
指定正味財産期末残高	148,640,000	12,660,000	161,300,000	159,950,000	
III. 正味財産期末残高	149,569,544	12,844,098	162,413,642	161,126,196	



## 資金調達及び設備投資の見込みについて

### (1) 資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定 …… なし

### (2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定  
… なし  
以上